



2023年3月1日

日本鉄道労働組合連合会

## 私鉄中国労働組合広島電鉄支部との ジェンダー平等推進にかかるとの 意見交換会を実施！

JR連合は1月23日、広島市内で第2回男女平等参画推進委員会を開催し、私鉄中国地方労働組合広島電鉄支部（広電支部）との「ジェンダー平等推進」にかかるとの意見交換会を実施した。JR連合からは17名、広電支部からは4名の総勢21名が参加し、相互の取り組みについて理解を深めるとともに、課題認識を共有した。

冒頭、荻山会長からの挨拶の後、ジェンダー平等推進に関する取り組み紹介を相互に行った。広電支部からは、出産や育児を理由とした休暇や勤務制度については、性別の関係なく取得できるようになっていることのほか、そもそも乗務員には泊まり勤務がなく、始発・終電に合わせて自家用車などを用いて出退勤していることなどが報告された。

その後のグループディスカッションでは、グループごとにテーマを分け、「乗務と育児の両立」、「男女平等参画とジェンダー平等の両立」「女性労組役員の育成」「女性の会社におけるステップアップ」について課題の共有や解決に向けたアイデアについて、意見交換を行った。

出席者からは「JRでは泊まり勤務が当たり前になっているが、発想を転換すれば泊まり勤務をなくせるのではないか」「権利ばかりを主張するのではなく、相互に理解を深めることも大事」「女性役員の育成は組織として取り組むべきであり、会社の理解も必要」「女性の管理職はもちろん必要だが、理解のある男性管理職を増やすことも重要」などの発言があった。



相互に理解を深めたディスカッション



広電支部とは今回初めての交流となったが、参加者からは「産別や単組の枠を超えた横の繋がりをつくることができた」、「女性の集まりは少ないので、貴重な経験だった」などの感想があった。

JR連合は、持続可能で将来展望の持てるJR産業をつくるべく、引き続きジェンダー平等を積極的に推進していく。